

令和3年度 佐久技術専門校運営協議会 主な意見

開催日：令和4年3月23日（水）

項目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方
評価シートに関する事	機械加工科 機械CAD加工コース	・特になし	
学びの場としての校のあり方に関する事		<p>・入校者の推移について、H25から新規学卒者が減少している状況だが、どういった傾向からか。</p>	<p>・少子化でここ10年の間、18歳人口の減少がひとつ大きな要因と思われます。</p> <p>・県としては、キャリア教育として小中学生に対しものづくり産業等の周知について取り組んでいます。若者の関心度が上がっていかない現状があります。</p> <p>・東信地域の特性として、上田市の工科短期大学への進学を希望する学生が多いことも挙げられます。佐久技術専門校では、高校訪問や市役所の広報誌等を活用して訓練生募集等の周知を行っていますが、なかなか結果に結びつかない状況です。</p> <p>また現状として、技術系の専門学校等に進学を希望する高校生等はほぼ見られません。</p> <p>・既卒者(求職者)については、普通課程では授業料が発生し、経済的要因でハードルが高いのではないかと思います。(短期課程は無料。)</p>
		<p>・佐久技術専門校の認知度はどうか。</p>	<p>・進学先としての認知度は低いと思われます。高校等に対する認知度をまだまだ上げていく余地はありますが、地元企業とのつながりの中で認知度を上げていくことも効果的であると思われます。</p> <p>なお、高校訪問等を実施していますが、その後高校で技専校を進学先としてどこまで展開してくれているかは分かり得ない状況です。</p> <p>・認知度アップの取り組みとしては、工科短期大学や一部の技専校ではSNSやYouTube等を活用した発信を始めています。全体的に認知度を上げるためしっかり取り組んでいきたいと思えます。</p>
		<p>・ハローワークの相談窓口に来所する20代の若者は、IT関係やプログラム系(デスクワーク、PC活用)への就職希望者が多い傾向です。</p> <p>HWでも地元企業等の説明をさせていただいているが、製造業は希望者が少ない(求人は有り)。</p>	<p>・ハローワーク等関係機関の皆様にも引き続き技専校のPR等に御協力をお願いします。</p>